

新基地建設反対名護共同センターニュース

「違法工事中止せよ！」と県民90人が抗議

「マキテーナイビランドー」(負けてたまるか!)
大規模集会中止でも通常の座り込み続く

キャンプ・シュワブゲート前では26日、沖縄市やうるま市など各地島ぐるみから約90人が駆けつけ座り込みました。「違法工事は中止せよ!」、「美ら海を埋めるな!」、「マキテーナイビランドー」とシュプレヒコールし、作業車が基地内に入ることに抗議の声をあげました。

「辺野古」は憲法を実現するたたかい

休憩時間にテント村で東京の内田雅敏弁護士がミニ講演を行いました。内田氏は、辺野古のたたかいは「憲法上の位置について説明。辺野古のたたかいは、「基本的人権は、人類の多年にわたる自由獲得の成果であって、過去幾多の試練に耐え、現在および将来の国民に対し、侵すことのできない永久の権利として信託された」と定めた憲法九七条を実現するたたかいだと強調。最後に内田氏は安倍政権との闘いで「沖縄戦などの死者たちとの共闘」「子や孫さらに次の世代に引き継ぐ未来との共闘」「アジアの民衆との共闘」の三つの共闘の観点を提起しました。

「感染症対策で新基地建設も中止せよ」

国連の「世界的な停戦の訴え」を受けて高里氏

ゲート前では25日、平和市民連絡会の高里鈴代さんの司会で座り込み行動を展開、約40人が参加しました(写真→)。

高里さんは「コロナウイルス感染症対策でグテレス国連事務総長が世界的な戦争の停戦を訴えている。戦争につながる新基地建設も中止すべきだ」と訴えました。参加者は基地内にたたかいの歌と抗議のシュプレヒコールを響かせました。



ミニ講演を行う内田弁護士↓



2020/03/22 17:27

もう夏日の名護!

22日、名護市内は夏日。学校に行けないでいた子どもたちが、安和の棧橋近くの海岸で水遊びをしていました。



2020/03/23 11:36

抗議船とカヌーで海上行動

ヘリ基地反対協は21日、抗議船2隻とカヌー14艇で第3土曜日の海上行動を行いました。

K8やK9護岸から赤土をダンプカーに積み込む現場やテトラポット設置現場で、「違法な工事を中止せよ」「赤土を投入するな」、「サンゴを殺すな」などとシュプレヒコールを上げました。

